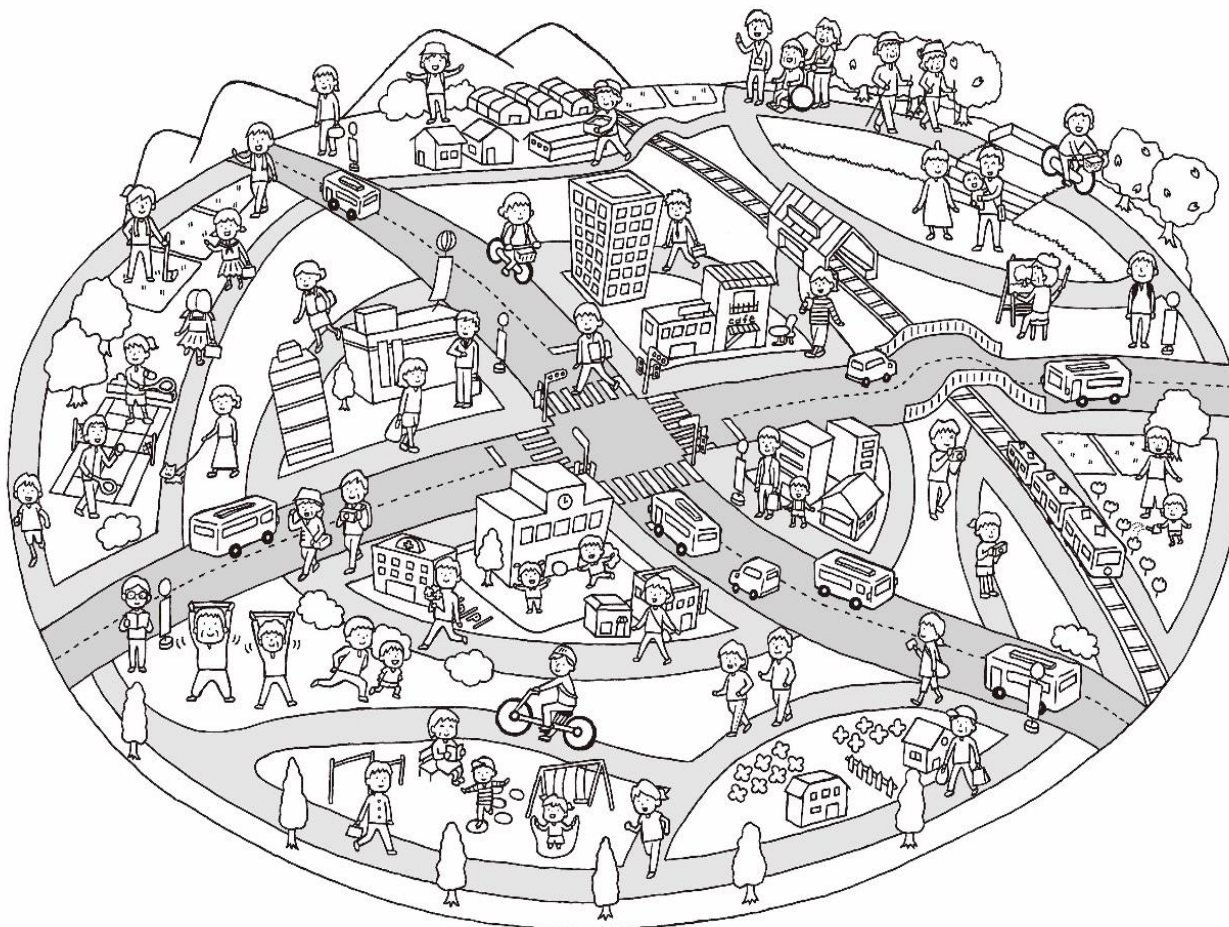


1) 草津市健幸都市基本計画案 について



平成29年2月23日(木)
健康福祉政策課

草津市健幸都市基本計画

計画の目的

健幸都市を創造するために全市的に取り組む事項等を定めることにより、健幸都市に向けた取組が総合的かつ計画的に推進されるようにする。

目指す姿

健幸都市くさつ

～住む人も、訪れる人も、健幸になれるまちを目指して～

計画期間

第1期：平成29年度～平成34年度

計画の体系

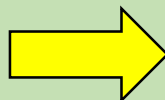
基本方針	基本施策	施策の内容
まちの 健幸づくり (ハード整備)	出かけたくなるまちづくり	① 歩いて暮らせるまちづくり ② 安全安心に配慮した公共空間の整備 ③ 賑わい・うるおいの向上に向けたまちの環境づくり
	交流機会や健康拠点の充実	① 交流機会の充実 ② 健康拠点としての草津川跡地公園や各地域の公園の活用
ひとの 健幸づくり (地域・個人)	地域の主体的な健康づくりの推進	① 地域の特性に応じた健康づくり ② 支え合いのコミュニティづくり
	個人の健康づくりの推進	① 全世代に共通した健康づくり ② ライフステージに応じた健康づくり
しごとの 健幸づくり (産学公民連携)	地域産業と連携した健康産業の活性化	① ヘルスツーリズムを含むヘルスケアビジネスの育成支援 ② 特産物を活かした健康な食等の推進
	大学・企業等との連携	① 産学公民連携とその仕組みづくり ② 健康に関する情報提供

計画の目標

健幸都市づくり 全体目標

■草津市が「健幸なまち」だと思う市民の割合の増加

現状値
※平成28年度市民意識調査
集計中



目標値
※平成28年度市民意識調査
の結果を踏まえ設定

まちの健幸づくり × ひとの健幸づくり × しごとの健幸づくり

■公共交通の利便性に満足している市民の割合の増加

<u>現状値</u>		<u>目標値</u>
41.1%	⇒	44.0%
(平成27年度)		(平成34年度)

■市内の文化・体育・交流施設の利用者数の増加

<u>現状値</u>		<u>目標値</u>
172.3万人/年	⇒	176.0万人/年
(平成27年度)		(平成34年度)

■健康寿命(平均自立期間)の延伸

	<u>現状値</u>		<u>目標値</u>
男性	80.67歳	⇒	82.35歳
女性	84.43歳	⇒	85.07歳
	(平成26年度)		(平成34年度)

■草津市への観光入込客数の増加

<u>現状値</u>		<u>目標値</u>
206.9万人/年	⇒	246.1万人/年
(平成27年度)		(平成34年度)

■健幸都市宣言賛同企業・団体数の増加

<u>現状値</u>		<u>目標値</u>
78か所	⇒	200か所
(平成28年度)		(平成34年度)

まちの健康づくり

従来からの健康施策の枠組みを超え、ハード面からも健康づくりに取り組みます。

出かけたくなるまちづくり

① 歩いて暮らせるまちづくり

- 都市機能や交通網を整えて、コンパクトシティ・プラス・ネットワークを形成し、歩いて暮らせるまちづくりを目指します。

② 安全・安心に配慮した公共空間の整備

- 安全安心に配慮した公共空間の整備を進めるため、バリアフリー化やたばこ対策、安全な自転車道の整備等を進めます。

③ 賑わい・うるおいの向上に向けたまちの環境づくり

- 中心市街地の賑わいを取り戻し、まちなかの交流人口の増加を図ります。
- まちの緑化を進め、緑あふれるまちづくりを目指します。
- 郊外部において、地域の産業・資源を活かした取組を進めることを検討します。

交流機会や健康拠点の充実

① 交流機会の充実

- 様々なイベントを開催するなど、出かける機会や交流機会の増加を図ります。
- 空き家を利用した多世代交流や地域交流拠点の創出を図ります。

② 健康拠点としての草津川跡地公園や各地域の公園の活用

- 子どもから高齢者まで、誰もがいつでも気軽に訪れ、健康づくりを行うことができる拠点として、草津川跡地公園や各地域の公園の活用を進めます。



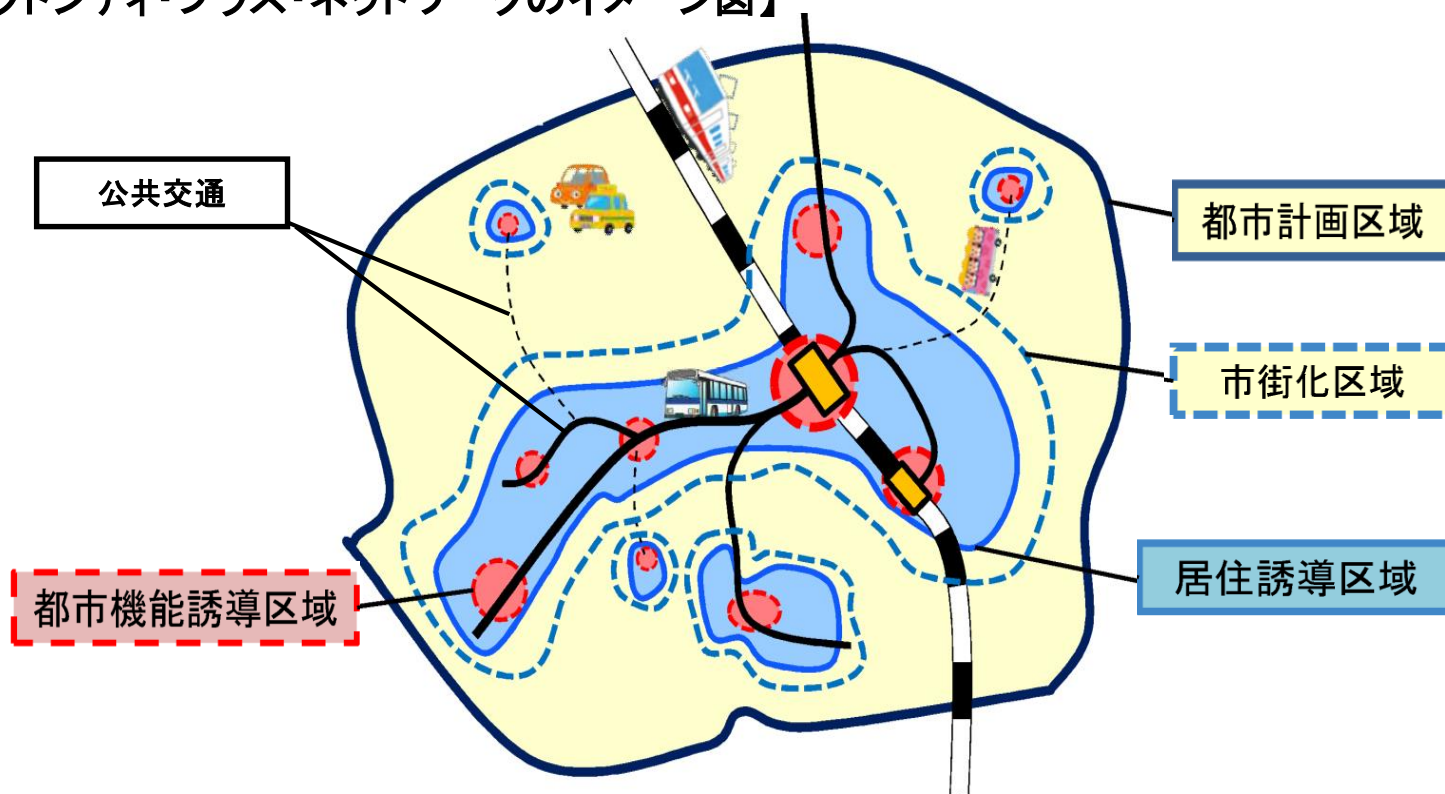
まちの健幸づくり 重点的な取組①

【新規】コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりに向けた計画の策定

「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」とは

⇒高齢化・人口減少が進む中で、地域活力の維持や医療・福祉・商業等の生活機能の確保を図り、皆が安心して暮らせるよう、公共交通と連携して進めるコンパクトなまちづくり

【コンパクトシティ・プラス・ネットワークのイメージ図】

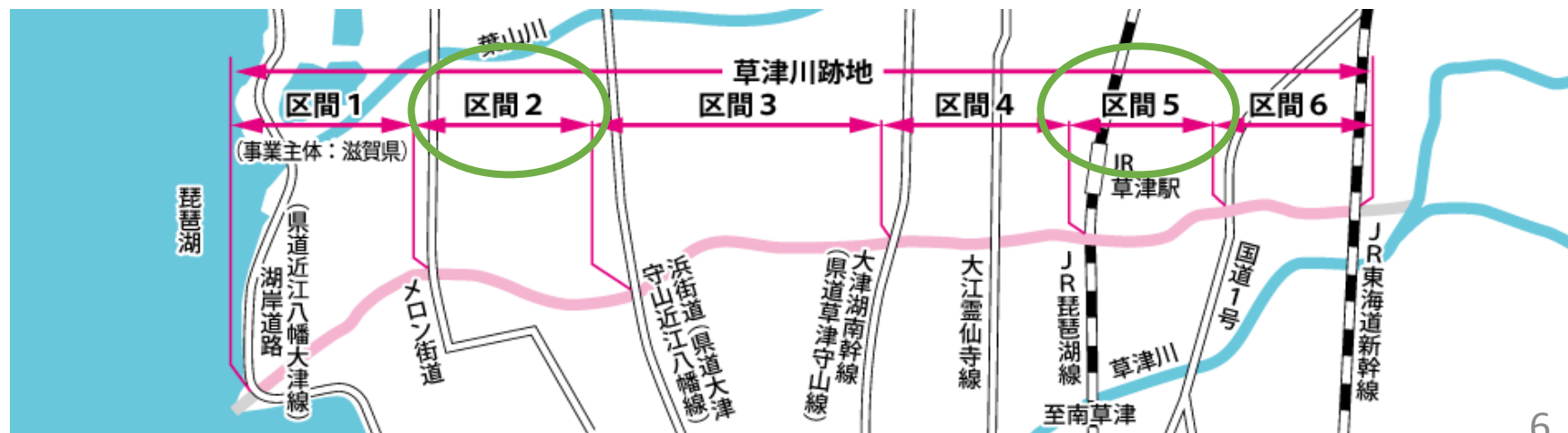


まちの健幸づくり 重点的な取組②

【継続】 草津川跡地公園の整備

人々の交流拠点や緑の憩い空間、都市防災機能など、多面的な機能を持つ草津川跡地公園の「市民の健康拠点」としての活用を進めます。

平成29年春には、区間2および区間5が開園し、イタリアンレストランやランニングステーション等の民間商業施設やにぎわい活動拠点施設、多目的広場や学校農園に加え、歩道、自転車道、各種テーマのガーデンゾーンを設置します。



まちの健幸づくり 重点的な取組③

【新規】 草津川跡地公園でのウォーキング等を中心とした健康イベントの実施(検討)

親子や三世代等をキーワードに、様々な世代が参加しやすい工夫を凝らしながら、草津川跡地公園等を活用したノルディックウォーキングを含むウォーキングイベント等、健康づくりのきっかけとなるイベントの実施を検討します。

併せて、草津川跡地公園が普段使いの身近な健康拠点となるような取組を進めます。



【拡大】 児童公園等の再整備

設置後相当年数が経過した児童公園等を対象として、地元の意見を聴きながら、外遊びやボール遊び、大人の健康づくりなど、地域のニーズに応じた公園になるようリニューアルを進めます。



ひとの健幸づくり

地域と個人の視点から、健康づくりに取り組みます。

地域の主体的な健康づくりの推進

① 地域の特性に応じた健康づくり

- まちづくり協議会の健幸宣言の実現に向け、各まちづくり協議会と市が協働して、地域の実情に応じた健康づくりの取組を進めます。

② 支え合いのコミュニティづくり

- 誰もが住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らすことができる「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。
- 地域の資源や人材を活かし、地域の課題を解決できる仲間づくりを支援します。



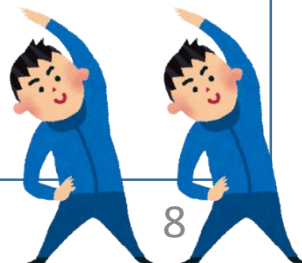
個人の健康づくりの推進

① 全世代に共通した健康づくり

- 健康くさつ21に基づく取組を計画的に推進するとともに、まちやしごとの健幸づくりの取組との連携を進めます。
- こころの健康づくりを強化する観点からも、多様化、複雑化する福祉の相談などに対応できる総合的な相談体制を検討します。
- 健康づくりに取り組むきっかけづくりを更に進めます。

② ライフステージに応じた健康づくり

- ライフステージごとの特徴や課題を踏まえた取組を進めます。
- 特に企業や保険者と連携した働く世代に対する取組や、高齢者の就労・社会参加を通じた介護予防の取組を強化します。



ひとの健幸づくり 重点的な取組①

【新規】各まちづくり協議会の健幸宣言実現に向けた取組の推進(検討)

データを活用した学区ごとの健康状態の見える化や、保健師による支援等により、各まちづくり協議会と市が協働して健康づくりに取り組む仕組みづくりを進めます。



■各まちづくり協議会の健幸宣言（平成28年8月28日）

ち

＜健康意識の高揚＞

ちいきのみんなが健康への理解を深め、健康と幸せの輪を広げます！

い

＜生活習慣の改善＞

いつまでも健やかで幸せな生活が送れるよう生活習慣の改善に努めます！

き

＜生活習慣病等の発症予防＞

きっちり健康管理をおこない健康診断の大切さを訴えていきます！

か

＜栄養・食生活＞

カロリー等、バランスのとれた食生活を心がけます！

ら

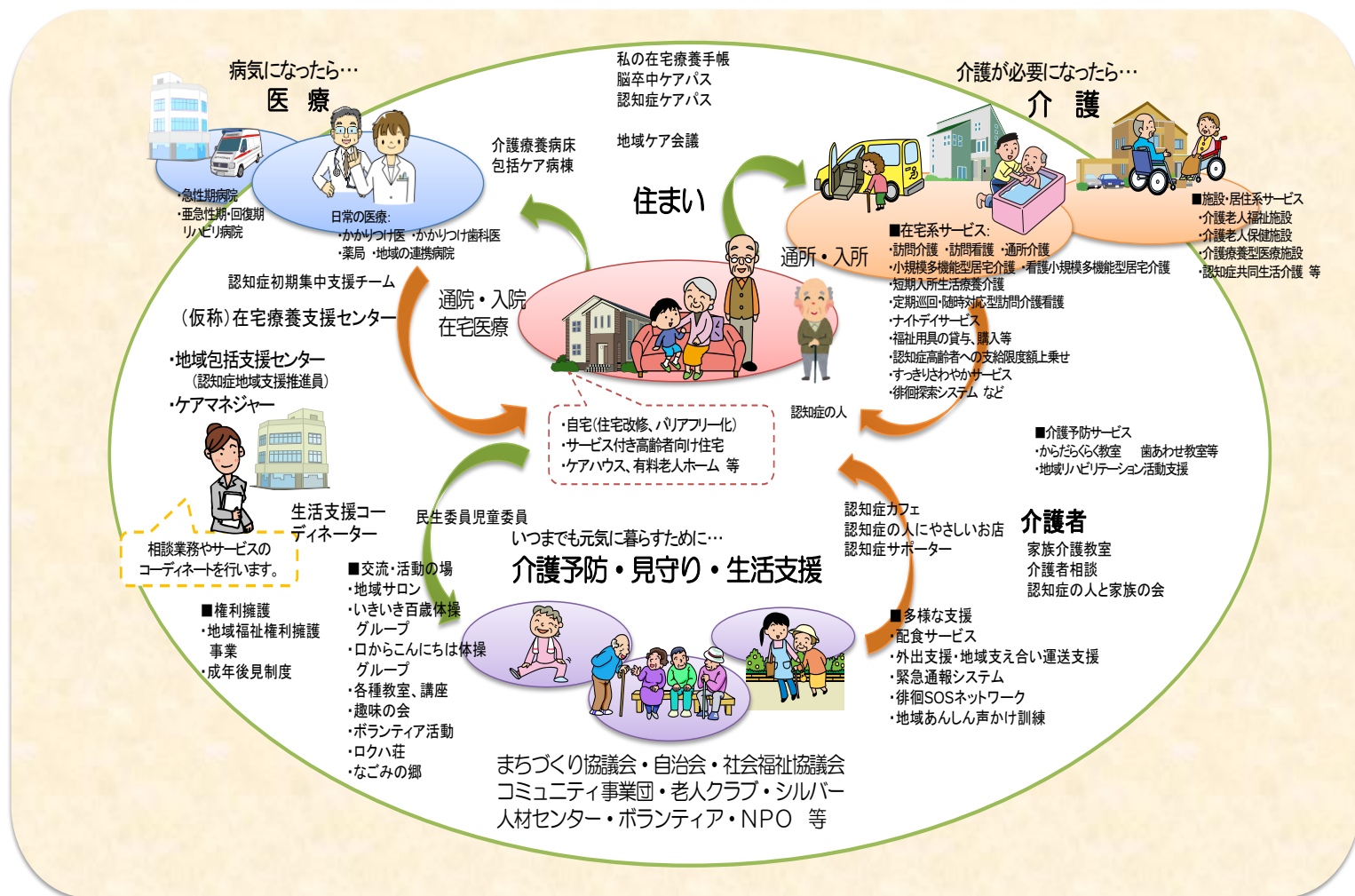
＜身体活動・運動＞

らくらく体を動かして、地域の運動習慣を広めていきます！

ひとの健幸づくり 重点的な取組②

【拡大】地域包括ケアシステムの推進

「地域包括ケアシステム」とは、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム。



ひとの健幸づくり 重点的な取組③

【新規】働く世代の健康増進(検討)

市の企業・団体版健幸宣言の実施やそれに基づく取組の推進を図るとともに、他の保険者等との連携により、働く世代の健康増進対策を強化します。

- 企業や団体による健康宣言の実施・賛同やそれに基づく取組の推進
- 他の保険者との連携による、生活習慣病予防等の強化 など



【新規】高齢者の社会参加・生涯活躍社会の構築にむけた取組の推進(検討)

新しい介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の考え方において、高齢者自身が社会参加し、社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながると指摘されています。

生涯活躍社会の構築に向け、地域活動やボランティアへの参加、就労等、高齢者の様々な生きがいづくりや社会参加の仕組みについて、検討を進めます。



しごとの健幸づくり

産学公民が連携し、健康になれるまちづくりを進めます。

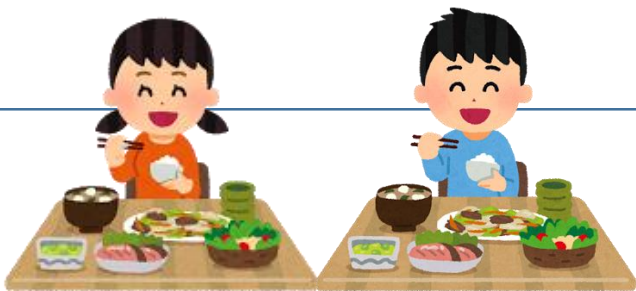
地域産業と連携した健康産業の活性化

① ヘルスツーリズムを含むヘルスケア ビジネスの育成支援

- 市の様々な観光資源や農業環境も活かして、ヘルスツーリズムを含む健康産業の育成支援を検討します。

② 特産物を活かした健康な食等の推進

- 身近な農産物のPRを進め、地域産業の活性化や地産地消、野菜摂取量の増加を促す取組など、健康と産業の連携を進めます。



大学・企業等との連携

① 産学公民連携とその仕組みづくり

- 市内の団体や企業、大学とともに、産学公民連携による健幸都市づくりを進めます。
- 労働者の健康増進やワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

② 健康に関する情報提供

- 各種媒体を利用して積極的な広報活動を進め、様々な団体・企業等と連携して積極的に情報発信を行います。



しごとの健幸づくり 重点的な取組①

【拡大】ヘルスケア産業の可能性の研究(検討)

びわこ南部地域では、地域経済の持続的発展と県民がいきいきと健康に暮らす社会の実現を目指す「地域の“ものづくり力”を活かした『滋賀健康創生』特区」が、平成25年9月に国の地域活性化総合特区の認定を受けました。

草津市においても、大学や関係企業との連携を進めながら、ヘルスケア産業の可能性の研究を進めます。

【新規】ヘルスツーリズムの開発(検討)

東海道・中山道が合流・分岐する出会いのまちとして、自然環境や歴史遺産、地元食材や健康産業など、様々な地域資源の連携を含め、訪れることで健幸になるヘルスツーリズムの実施を検討します。

～ヘルスツーリズムの実施事例～

- ◆和歌山県熊野古道(田辺市本宮町ほか熊野地域)
世界遺産である熊野古道や温泉、地元食材など地域資源を活用し「健康と学び」の滞在型プログラムを提供しています。和歌山県世界遺産センターによる熊野レクチャーなど学びの要素も加え、“歩き、学び、遊び、ふれあい、健康になる”「熊野セラピー(熊野地形療法)」が楽しめます。



しごとの健幸づくり 重点的な取組②

【拡大】草津ブランドの構築・PR

草津市の農産物や琵琶湖固有の水産物の6品目をブランド認証しています。
今後は、草津ブランドを地域で育て、地産地消につなげることで、地域産業の活性化や草津市のイメージアップを図り、全国に誇れるブランドへと育てていきます。



■草津産アスパラガス



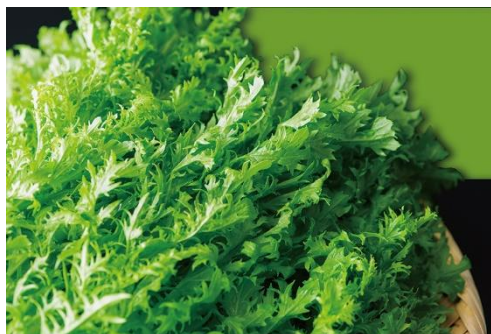
■草津ホンモロコ



■草津あおばな



■匠の夢



■愛彩菜



■草津メロン

しごとの健幸づくり 重点的な取組③

【拡大】企業版健幸宣言の推進と企業連携(検討)

健幸都市宣言に賛同、または賛同しかつ独自の健幸宣言を行う企業・団体の募集を継続するとともに、企業・団体の優れた取組を公表・PRする機会を設けます。

○賛同+宣言企業等(31事業所:50音順)

(平成29年1月17日現在)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)伊藤工務店、(株)井上工業、大阪ガス(株)滋賀事業所、キンキダンボール(株)、草津市農業協同組合、草津商工会議所、(一社)草津栗東守山野洲歯科医師会、(株)滋賀銀行草津市内各店、ダイキン工業(株)、(株)日本旅行草津支店、(株)Perfect Trainers、パナソニック(株)アプライアンス社、一般社団法人びわこ薬剤師会、(株)平和堂アルプラザ草津、立命館大学びわこ・くさつキャンパス、(有)竜王興産、各まちづくり協議会(14団体)

○賛同企業等(47事業所:50音順)

(株)いずみニー、エールコーポレーション(株)、オムロン(株)草津事業所、(有)からすま農産、(株)関西アーバン銀行草津西支店、衣川建設(株)、キャノンマシナリー(株)、京都中央信用金庫草津支店、(株)近鉄百貨店草津店、(有)草津介護センター、草津市老上デイサービスセンターきはん、社会福祉法人草津市社会福祉協議会、草津都市開発(株)、(福)草津保育園、(一社)草津栗東医師会、(株)クサネン、医療法人九谷医院、湖南電機(株)、サンスター技研(株)滋賀工場、(福)志津保育園、(株)下平電機製作所、住友精密工業(株)滋賀工場、(株)ZTV滋賀放送局、全国健康保険協会滋賀支部、(株)千商、第一生命保険(株)草津営業オフィス、(株)大同、太陽住宅(株)、デイサービスりんく草津、帝産湖南交通(株)、東京濾器(株)草津工場、東和警備保障(株)、(株)トヨタレンタリース滋賀、(株)南洋軒、日電硝子加工(株)、ニプロ(株)ニプロ・ライフサイエンスサイト、日本観光開発(株)、(株)パナホーム滋賀、(株)藤田、(株)フットワーク、南草津病院グループよつばライフケアネットワーク、雅通信建設(株)、ムラテックKDS(株)滋賀工場、(株)ヤマキ、(株)湯浅製作所、(株)ワークスタイル、(福)若竹会

計画の進捗管理・評価

PDCAのプロセスを繰り返し、計画の推進に努めます。

最終年度には、計画全体の評価を行い、次期計画を策定するものとします。

